

連合第61回中央委員会開催

～2012春季生活闘争方針を決定！～



連合第61回中央委員会が、12月1日(木)午前10時からホテルラングウッド(東京都荒川区)で開催されました。出席者は中央委員・役員等188人で連合長崎からは小石会長(特別中央委員)と松井副事務局長(傍聴者)が出席しました。

中央委員会は、古賀会長のあいさつが行われた後、活動報告のうち一般活動報告を南雲事務局長が2011年6月2日開催の第60回中央委員会以降の活動のうち、主なものについて報告を行いました。

一般活動報告の次に、古賀会長が連合を代表して「あしなが育英会」へ東日本大震災救援カンパ金を贈呈しました。(連合東日本救援カンパ金は、2011年3月

14日～9月30日の間に825,412,156円となりました。第1次配分後、現在の残高(受取利息を含む)は150,432,717円となっており、このうち150,000,000円を東日本大震災・津波による遺児に対する支援金として寄付しました)

午後から、2012春季生活闘争方針の提起が行われました。提起に対して反対する意見は無く賛成多数で決定されました。

また、特別講演は民主党前原政調会長が民主党の取り組みについて講演を行いました。

中央委員会の最後は2012春闘勝利を目指し、岡本会長代行の音頭でガンパロー三唱が行われ閉会しました。

2012春季生活闘争のポイント

2012春季生活闘争は、世界経済が大転換期ともいえる状況にあり、取り巻く環境が昨年以上に厳しい中で、「市場と効率」に傾斜した経済運営や企業経営のあり方を根本から問い直し、健全な危機感を共有化しつつ、厳しさに流されることなく、成長を根本から問い直し、健全な危機感を共有化しつつ、厳しさに流されることなく、成長の源泉である「人財」を育てあげる観点を含め、昨年と変わらない要求を掲げ、交渉し、成果を引き出す取り組みをすすめていく。

すべての労働者を視野に入れ、格差是正、底上げ・底支えの取り組みをすすめるとともに、適正な成果配分を追求する闘争を強化し、内需を拡大し、日本経済を縮小均衡、デフレから早期に脱却し、持続

可能な成長をめざす。

そのために、マクロ的な観点から、すべての労働者のために1%を目安に配分を求め、労働条件の復元・格差是正に向けた取り組みをすすめる。

同時に「2012年度 連合の重点政策」を踏まえて設定した、①震災からの復興・再生、②日本経済の持続的・安定的成長軌道への復帰と雇用創出、人材確保、③ディーセントワーク、ワーク・ライフ・バランスの実現、④社会保障・税一体改革の実現、の4つの柱の実現を中心に製作・制度の実現の取り組みと一体となった運動を推進し、「働くことを軸とする安心社会」の構築に着実につなげていかなければならない。

青年委員会第22回総会開催

「若い力を結集しよう！パワフル！ジョイフル！ハートフル！」

連合長崎青年委員会は、11月12日(土)教育文化会館において、第22回青年委員会総会を開催しました。

2011年度活動経過報告及び、第1号議案の2012年度運動方針から、第2号議案の2012年度予算、第3号議案の役員選出まで審議を行い、満場一致で承認されました。また、本総会ではスローガンを「若い力を結集しよう！パワフル！ジョイフル！ハートフル！」とし、①ふれあい・交流を深める活動、②次代のリーダー育成のための意見交換・学習会、③平和への取り組み、④福祉・ボランティア活動、といった取り組みを基盤に「力強く、楽しく、心通じ合う」活動を展開していくことを確認しました。

最後に、江頭敏委員長(電力総連)の音頭による参加者全員の「団結ガンバロウ」で総会を締めくくりました。



新役員

2012年度役員体制		
役 職	氏 名	産 別
委 員 長	江 頭 敏	電 力 総 連
副 委 員 長	大 石 淳	基 幹 労 連
事 務 局 長	森 本 龍 也	自 治 労
事 務 局 次 長	山 本 高 志	J R 連 合
幹 事	田 中 淳	長 崎 私 交 通
幹 事	吉 田 未 礼	J P 労 組
幹 事	志 良 堂 清 史	都 市 交
幹 事	白 木 智 宏	運 輸 労 連

退 任 役 員		
旧・役職	氏 名	産 別
委 員 長	芳 川 孝 太 郎	電 力 総 連
幹 事	西 川 徹	J P 労 組
幹 事	松 尾 真 也	基 幹 労 連

女性委員会第22回総会開催

「男女が共に、仕事と生活を調和できる 職場・社会をつくろう！」

連合長崎女性委員会は、11月12日(土)教育文化会館において、第22回女性委員会総会を開催しました。

2011年度活動経過報告では、女性委員会が主催する学習会や、連合長崎と連携した平和の取り組みについて報告を行いました。続いて第1号議案として、『男女がともに仕事と生活を調和できる職場・社会をつくろう！』を目標に「2012年度の活動方針」、第2号議案「2012年度予算」、第3号議案「役員体制」まで審議を行い、満場一致で承認されました。

最後に、総会宣言として、『男女双方のワーク・ライフ・バランスの実現で男女にかかわらず「働くことを軸とする安心」を実感できる社会をつくっていく』ことを確認し、総会を閉会しました。



新役員

2012年度役員体制		
役 職	氏 名	産 別
委 員 長	松 本 久 美	自 治 労
副 委 員 長	中 川 チ エ ミ	電 力 総 連
事 務 局 長	白 倉 あ け み	日 教 組
幹 事	末 吉 祐 子	自 治 労
幹 事	松 添 繁 子	基 幹 労 連
幹 事	宮 田 佳 実	J P 労 組
幹 事	山 中 長 枝	情 報 労 連

退 任 役 員		
旧・役職	氏 名	産 別
委 員 長	森 優 子	J P 労 組
幹 事	諸 江 美 智 子	自 治 労
幹 事	田 川 寛 子	基 幹 労 連
幹 事	浦 由 紀 子	電 力 総 連

部落解放共闘長崎県民会議が第15回総会・学習会を開催!

11月17日(木)18時から長崎県勤労福祉会館において60名の参加で「部落解放共闘長崎県民会議第15回総会・学習会」を開催しました。

総会は、山口副議長(部落解放同盟長崎県連合会委員長)の司会で始まり、小石議長(連合長崎会長)の主催者あいさつの後、長崎県人権・同和対策課 水町課長から来賓あいさつを受けました。議長に岩田代議員(自治労)を選出し、報告事項(2011年度活動経過・2011年度会計・2011年度会計監査)、審議事項(2012年度活動方針・2012年度会計予算・2012年度役員体制)について承認を受けました。

総会は、部落差別の解消をはじめ、あらゆる人々の人権が尊重される平和で豊かな社会の実現をめざし、九州、全国の仲間と連帯し全力で運動に取り組むことを宣言し終了しました。

学習会は、前半に狭山事件について、この事件が冤罪であることを訴えて放映されたテレビ番組の上映を行ったあと、現況の報告が行われました。後半は、埼玉県等で実施されている、本人以外の方が戸籍謄本や住民票を取ったとき、そのことを知らせる本人通知制度について説明が行われました。



小石議長(連合長崎会長)のあいさつ

「いのち・愛・人権 2011年ながさき市民のつどい」開催!



部落差別をはじめとする一切の差別をなくし、いのちの輝きと互いの温もりが実感できる長崎の実現。長崎に暮らす様々な人々が「いのち・愛・人権2011年ながさき市民のつどい」で出会うことによって、互いに尊敬し、仲間としてつながっていくことを目指して「いのち・愛・人権2011年ながさき市民のつどい」が11月12日(土)にJR長崎駅前のかもめ広場で開催されました。

会場のステージでは、和太鼓やエイサー、バンド演奏、紙芝居等が行われ、ステージ横では、狭山事件啓発パネル展、放射能に関するパネル展が行われました。また、来場されたみなさんには、綿菓子やポケットティッシュ、パンフレットが配られました。



「アジア・アフリカ支援米」 各地協で稲刈り！

春に田植えを行った各地域協議会は、10月に稲刈り作業を行いました。地協ごとに様々なイベントを盛り込み、楽しい汗を流しました。収穫された支援米は、来春3月に支援先に発送されます。各地協のみなさんご協力ありがとうございました。



佐世保地協



長崎地協



五島地協



島原地協



連合長崎・諫早地域協議会 諫早地協

連合第12回ユースフォーラムが開催！

連合「青年活動委員会」は、2011年11月18日(金)～19日(土)、綾てるは森の宿(宮崎県東諸県郡綾町)において、「連合 第12回ユースフォーラム」を開催しました。全国の構成組織・地方連合会から85名の参加があり、連合長崎からは3名が参加しました。この「連合ユースフォーラム」は、例年は東京付近で開催していましたが、青年(男女)組合員の連合運動への参画意識を高め、組織強化につなげるため、今年より各地方ブロックの持ち回り開催とし、その1回目として九州ブロック(宮崎県)からのスタートとなりました。

1日目は、連合本部連帯活動局の橋本さんから「連合の活動について」報告をいただいた後、各班に別れてウォークラリーを行いました。あいにくの雨でしたが、雨にも負けず傘をさして、綾町の自然の中ウォークラリーを行いながら、初めて会ったメンバーとの交流を深めました。

夕食は「被災地における調理実践」として、飲料水が十分に確保できない場合や炊飯器が使えないということ想定して、ご飯を炊くことに挑戦しました。ビニールにお米(水が貴重なので磨がないまま)と水を入れ、空気を抜いてビニールの口を輪ゴムで縛り、沸騰した鍋の中に入れてご飯を炊きました。各参加者で作った

「カレー鍋」や「お好み焼き」と合わせ、参加者全員で交流を深めながら夕食をいただきました。

2日目は、学習会として、九州ブロック各県の青年委員より、「九州ブロックの活動紹介」を行いました。続いて連合本部より「東日本大震災ボランティアDVD」を上映し、東日本大震災に対するボランティアの取り組みについて報告がありました。

その後、各班で「青年活動が目指すもの」というテーマでディスカッションを行い、参加者全員で青年活動を行ううえでの目標を確認・共有しあい、2日間のユースフォーラムを終了しました。



参加者で記念撮影

ディーセントワーク世界行動デー

連合を含めた世界151ヶ国・地域、1億7,500万人の労働者が結集する国際労働組合総連合(I T U C)は、「公正なグローバル化を通じた、持続可能な社会」をめざして、ディーセントワークの実現を柱に掲げた世界一斉行動の実施を呼びかけています。

連合長崎と長崎地協は、世界統一行動の一環として10月29日(土)に浜の町アーケードで街頭行動を行いました。該当行動は、連合長崎と長崎地協の役員のみなさんが、通行されるみなさんに啓発用のポケットティッシュを2,000個配布し終了しました。

ディーセントワークってなに？

「ディーセントワーク」は、ILO(国際労働機関:現在183ヶ国が加盟し、政府・労働者・使用者で構成)のファン・ソマビア事務局長が1999年の就任時ILOの理念・活動目標として示したものの。具体的には「権利が保障され、十分な収入を生み、適切な社会保障(疾病、出産、業務災害、失業、障がい、高齢等による経済的困窮から救うための公的措置)、社会対話(政労使・労使間の交渉・協議)が確保された生産的な仕事」と説明しています。日本語では「働きがいのある人間らしい仕事」という訳が正式に使用されています。



長崎県産業別最低賃金（3業種）が結審！

長崎県産業別最低賃金の審議は、11月8日（木）に開催した長崎県最低賃金審議会において、「船舶製造・修理業、船用機関製造業最低賃金」についての採決をもって、長崎県の産業別最低賃金（3業種）が結論に達しました。

長崎県の産業別最低賃金は、「船舶製造・修理業、船用機関製造業」（造船）、「はんよう機械器具、生産用機械器具製造業」（一般機械）、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」（電気）の3業種について審議しており、それぞれ公・労・使各側3名の委員で専門部会を構成し審議を行っています。2011年の産業別最低賃金審議は、9月27日に長崎労働局長の諮問を受け、その後、各4回の専門部会を開催する中で、労働者側は①連合長崎地場組合の賃上げ率（1.21%、10円）を下回らないこと、②長崎県の基幹産業である3業種の労働者として、一定の賃金を保障することを主張し、対して使用者側は①最近の円高等による景気の悪化、②受注不振による先行きの不透明さを理由に、最低賃金の引き上げに消極的な対応をとりました。

そして、専門部会において労使が主張する金額の差が最後まで開いていたことから、それぞれの専門部会で公益見解を示すこととなり、その結果、造船（+5円：788円：使側反対）、一般機械（+5円：773円：全会一致）、電気（+5円：711円：全会一致）で結審に至りました。（法定発効日：造船1/7、一般機械・電気1/6予定）ただ、今回の審議でも、他県との格差解消には至らなかったことから、2012春季生活闘争において大幅な賃金の引上げを確保することで、来年の審議を盛り上げなければなりません。

2011年11月14日

連合長崎最賃対策委員会

第83回メーデー・ポスター図案 募集

○締切り 2012年1月16日（月）

◎入選 最優秀賞 1点(20万円)、優秀賞 3点(各10万円)
最優秀作品は第83回メーデーポスター図案に使用。

応募
方法

1. 図案イメージ：①震災からの復興・再生を軸に据えた「雇用と生活の再建」
②「働くことを軸とする安心社会」の意義と、労働組合の役割や使命の再確認
③「すべての働く者の連帯を目指した社会的な運動」の実現に向けた、諸団体やNGO・NPOとの連携強化
に基づき、**写真やイラスト等を用いたデザイン。**
2. 対象：連合組合員とその家族および退職者
3. 用紙：A2サイズ・タテ、画用紙またはケント紙・1人1点
4. 記載事項：用紙の裏側に氏名、自宅住所・電話番号、所属労働組合・電話番号、上部団体名、地方連合会名を記入のこと。記載事項もれは不可。
5. （郵送または宅配便）
〒850-0031
長崎市桜町9-6 勤労福祉会館 連合長崎宛



◎応募作品は返却しません。著作権はメーデー実行委員会の所有となります。
著作権上の問題が発生する恐れのあるデータを使用しない。写真も必ずオリジナルのものを使用する。

第83回メーデー中央実行委員会

TEL 03-5295-0513

E-mail : rentai@sv.rengo-net.or.jp